

---

---

◇◇◇◇ **日本臨床検査技師連盟だより** ◇◇◇◇

---

---

## 平成13年度 厚生労働省概算要求(一般会計)示される

平成13年度の厚生労働省の概算要求額が示された。平成12年度当初予算額172,644億円に概算要求基準7,291億円、非公共特別枠276億円、公共特別枠260億円をプラスして**合計180,472億円**が示された。その内年金、医療、介護、福祉等の社会保障関係費は172,218億円となっている。

医療は2,000億円増えて69,958億円の要求になっている。**新たに日本新生特別枠のメディカル・フロンティア戦略の推進として205億円が計上された。**

この概算要求根拠として13項目が重点事項として上げられている。下記に予算概要の一部を紹介する。

- 第1 **豊かで活力ある長寿社会に向けた総合的戦略の推進**
  - メディカル・フロンティア戦略の推進**
- 第2 **国民が安心・信頼してかけられる医療の確保と健やかな生活を支える取組みの推進**
- 第3 **新たな雇用機会の創出とミスマッチの解消に向けた雇用対策の積極的推進**
- 第4 **一人一人のキャリア形成(職業経歴を通じた能力形成)を支援し、能力を発揮できる社会の推進**
- 第5 **安心して子どもを産み育て、意欲を持って働くことのできる社会づくりの推進**
- 第6 **活力ある高齢社会の実現に向けた総合的な施策の推進**
- 第7 **介護保険制度の着実な実施と基盤整備・介護予防等関連施策の推進**
- 第8 **安心・快適な日常生活を送るための生活環境づくり**
- 第9 **働く人すべてが安心して働ける環境づくり**
- 第10 **障害者の自立・社会参加の推進と利用者のニーズに対応した良質な福祉サービスを提供できる人材の養成・確保等**
- 第11 **国際社会への積極的貢献**
- 第12 **その他の主要施策の推進**
- 第13 **行政体制の整備**

医療に関係する主な項目は以下のとおりである。

- 1-1 **ゲノム科学やたんぱく質科学を用いた治療・新薬等の研究の推進に 216億円**
  - (1) **新しい治療技術・新薬等の研究開発の推進**
    - 基礎研究及び臨床研究の推進
    - 医療機関における治験の推進

(2) 研究推進のための基盤整備

- 画期的な医薬品等の開発に関する基盤技術の拠点的研究機関の整備  
ゲノム科学、再生医療、たんぱく質科学等の先端分野の研究と拠点研究機関を整備
- 国立長寿医療センター(仮称)の整備
- がん予防研究センター(仮称)の整備
- 医療に関する情報の収集・提供のための基盤整備

2 疾病予防、健康づくり対策の推進 1.1 億円

- 保健指導に従事する保健婦等による健康教育の充実
- ヘルスサポーターの養成による地域における健康づくりの推進
- 脳卒中の初期症状、初期対応に関する知識の普及

3 質の高いがん医療の全国的な均てん、心筋梗塞・脳卒中の早期治療体制の整備等  
110 億円

(1) 質の高いがん医療の全国的な均てん

- 都道府県ごとの拠点医療機関における研究・研修
- 情報ネットワークによる診療に関する情報の共有(がんネット)

(2) 心筋梗塞・脳卒中の早期治療体制の整備等

- 救急救命センターにおける心臓病及び脳卒中の専門医の配置
- 救急救命センター等へのCCU, SCU専門病室・医療機器の整備
- ドクターヘリの導入

(3) ITの活用による医療提供体制の整備

- 地域医療の充実のための遠隔医療の実施
- 電子カルテの普及推進

2-1 医療安全対策の充実 5.6 億円

- **医療の安全確保のための日常診療における事例の収集体制の整備**  
**ヒヤリ、ハットの情報収集**
- **収集された情報の分析及び改善方策の策定**  
**インシデント事例を基により効果的な改善策の策定**
- 病院の職員に対する医療の安全確保のための研修の実施
- **院内感染を引き起こす薬剤耐性菌に関する発生状況の調査の拡充**

2 医療供給体制の整備 1,832 億円

3 健康日本21の推進 1,115 億円

4 免疫アレルギー対策の推進 15 億円

5 **結核・感染症対策の推進 365 億円**

6 難病対策の推進 358 億円

7 臓器移植の推進 28 億円

8 **安定した医療保険制度の確立 6兆9,958 億円**

その他小児救急医療支援体制の充実に.6.8 億円、国立成育医療センター(仮称)の開設に143 億円が計上されている。

---